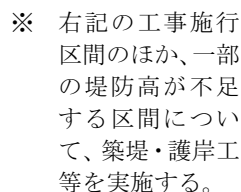
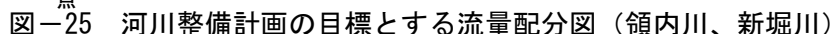


領内川では、流下能力の増大を図るために、広口池より上流の約 1.6km の区間において河床掘削を実施し、必要に応じて橋梁の架け替えを行う。その他の領内川の中下流区間及び新堀川においても、一部の堤防高が不足する区間について、築堤、護岸整備等を実施するとともに、流下阻害となっている橋梁の架け替えを行う。

整備にあたっては、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮する。



【景観】
田園風景と調した水辺空間の維持・形成に努める。

【治水】
川底を掘り下げて洪水を安全に流す。

【自然環境】
動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮し、水際や河床形状が多様となるよう努める。

約14m

洪水時の水位

約3m

図-27 領内川イメージ (11.2km 付近)

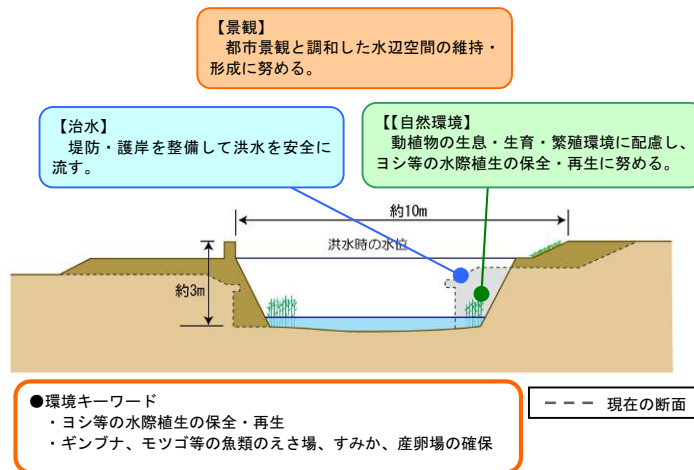


図-28 新堀川イメージ (1.5km 付近)

(5) 三宅川

三宅川では、流下能力の増大を図るために、概ね全川において、河床掘削・河道拡幅を実施し、必要に応じて橋梁の架け替えを行う。

整備にあたっては、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮する。

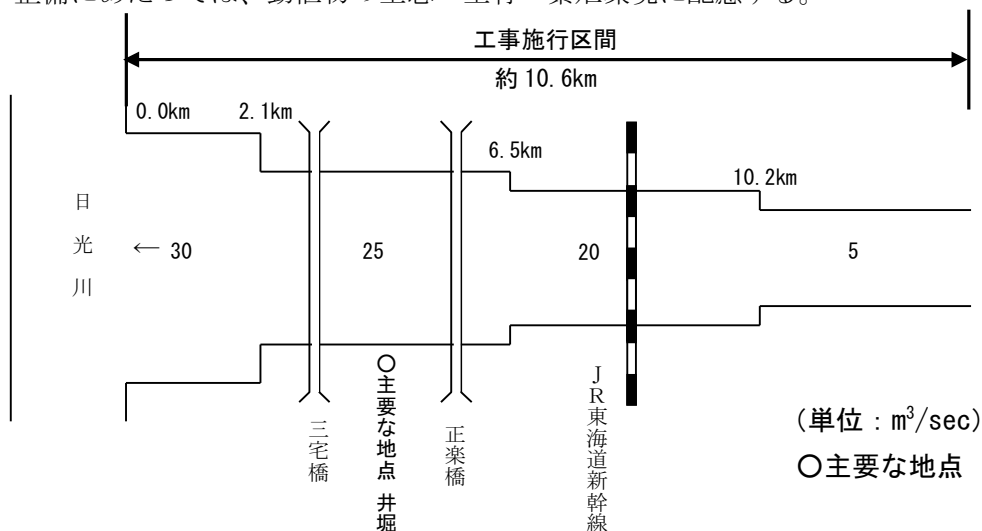


図-29 河川整備計画の目標とする流量配分図（三宅川）

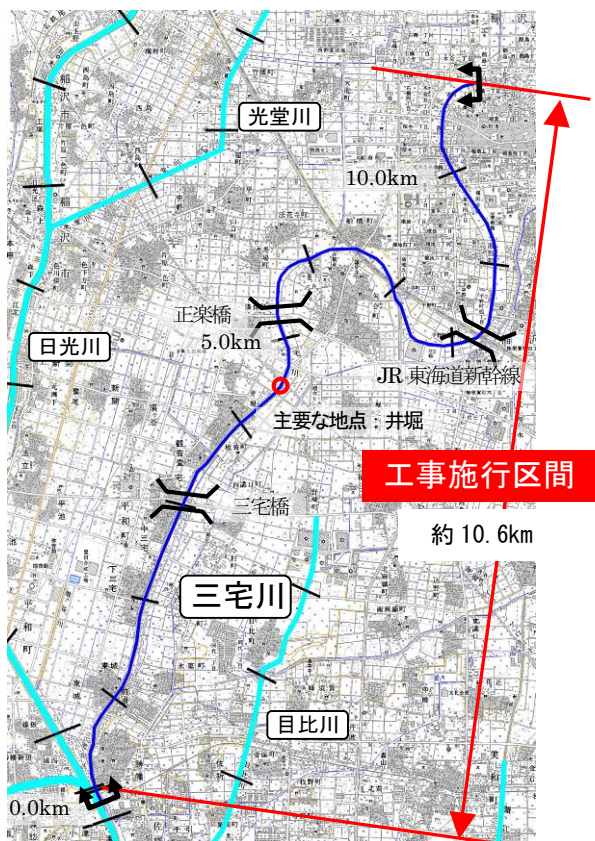


図-30 三宅川平面イメージ

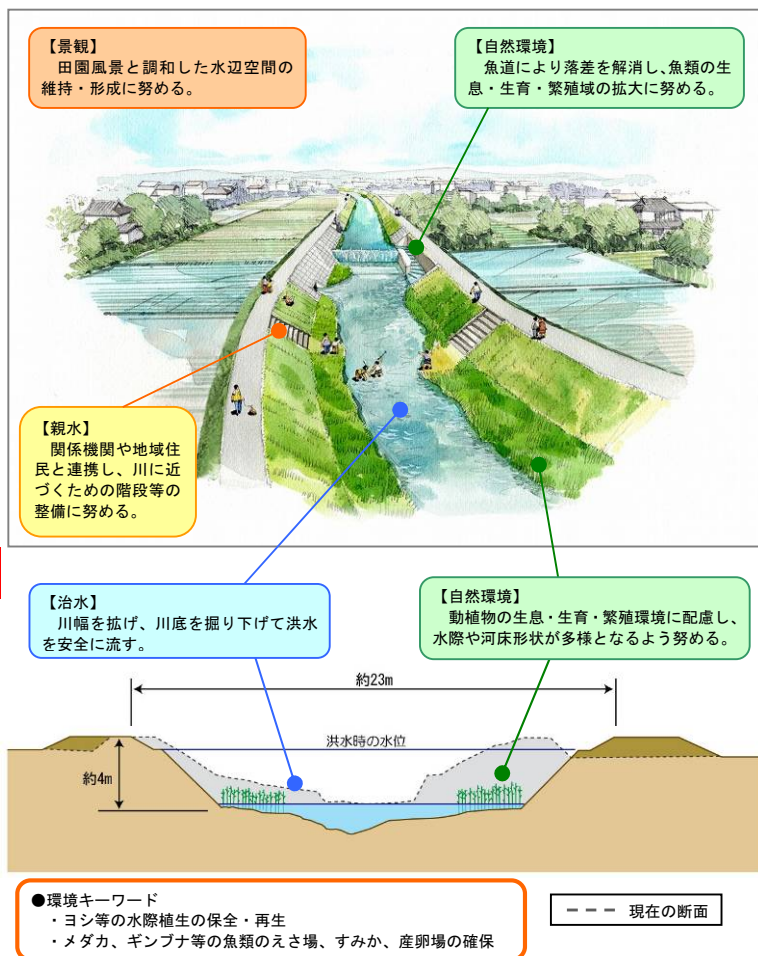


図-31 三宅川イメージ（5.8km 付近）

目比川では、堤防高が不足している約 3.0k より上流の約 1.8km の区間において、築堤、護岸整備等を実施し、必要に応じて橋梁の架け替えを行う。

整備にあたっては、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮する。

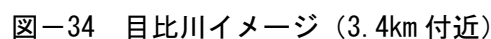


図-33 目比川平面イメージ

(7) 蟹江川、小切戸川

蟹江川では、堤防高が不足している約 6.6k より上流の約 3.6km の区間において、築堤、護岸整備等を実施し、必要に応じて橋梁の架け替えを行う。地震対策としては、表 4 に示した区間について必要な堤防耐震対策を行う他、蟹江川排水機場・蟹江川水門については耐震照査を行い必要な耐震対策を行う。

また、小切戸川では、約 0.9k から約 2.0k、約 3.2k から約 4.7k の区間において、築堤、護岸工等を実施し、必要に応じて橋梁の架け替えを行う。

整備にあたっては、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮する。

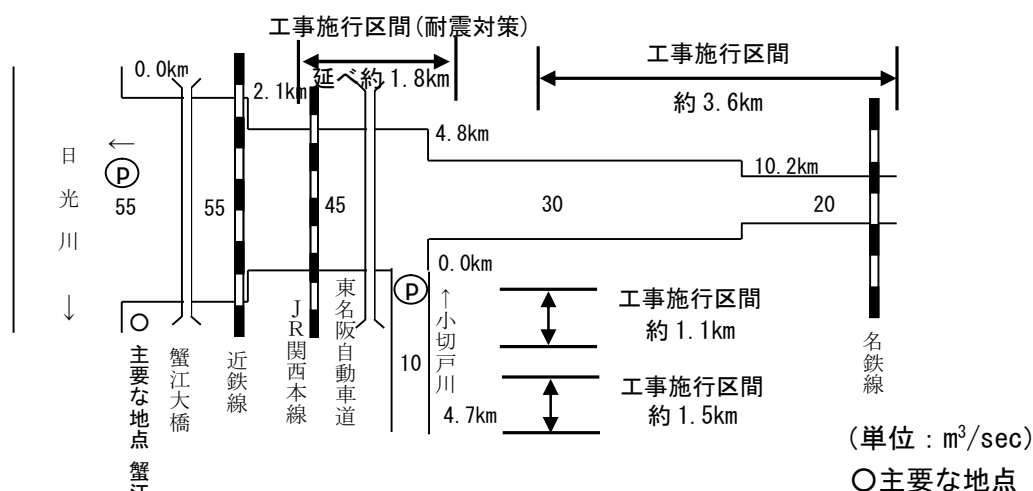


図-35 河川整備計画の目標とする流量配分図（蟹江川、小切戸川）

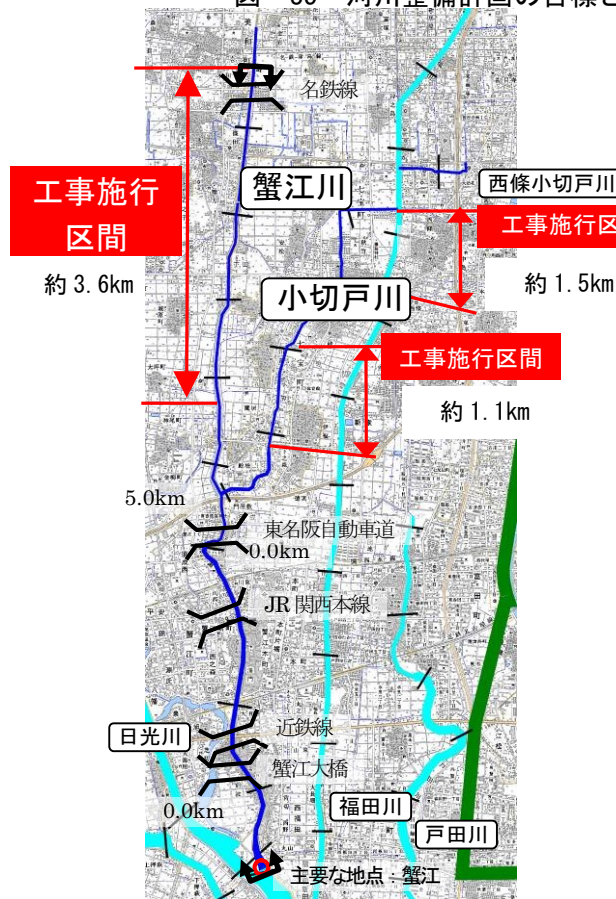


図-36 蟹江川平面イメージ

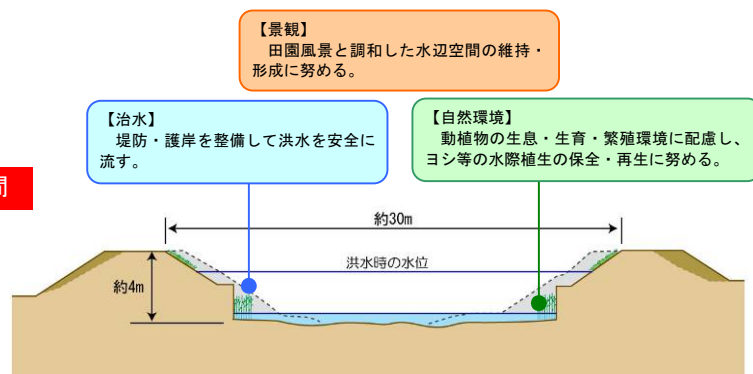


図-37 蟹江川イメージ (5.8km 付近)

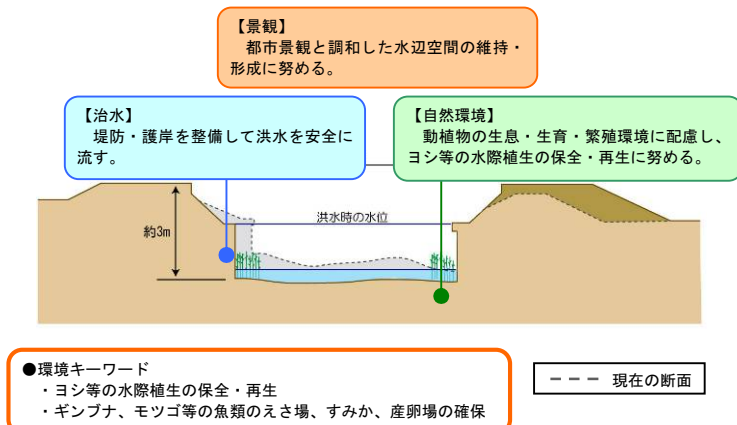


図-38 小切戸川イメージ (2.0km 付近)

(8) 福田川、西條小切戸川

福田川では、流下能力の増大を図るために、河口から約 12.8km までの区間において河床掘削を実施し、必要に応じて築堤、護岸整備および橋梁の架け替えを行う。また、洪水時の福田川の水位を低下させるため、4, 5 号遊水地の整備を行う。なお、河口部（日光川への合流点）の排水機場において現況の $60\text{m}^3/\text{sec}$ から $90\text{m}^3/\text{sec}$ までのポンプ増強が行われている。地震対策としては、西條小切戸川排水機場について、耐震照査を行い必要な耐震対策を行う。

西條小切戸川では、約 0.8km の区間において河床掘削等を実施するとともに、西條小切戸川ポンプを $8\text{m}^3/\text{sec}$ から $15\text{m}^3/\text{sec}$ まで増強する。

整備にあたっては、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮する。

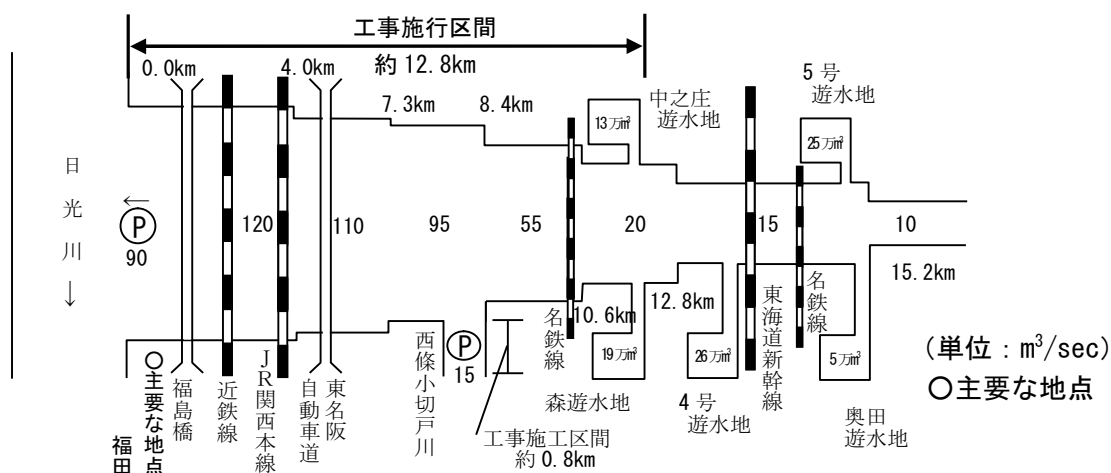


図-39 河川整備計画の目標とする流量配分図（福田川、西條小切戸川）

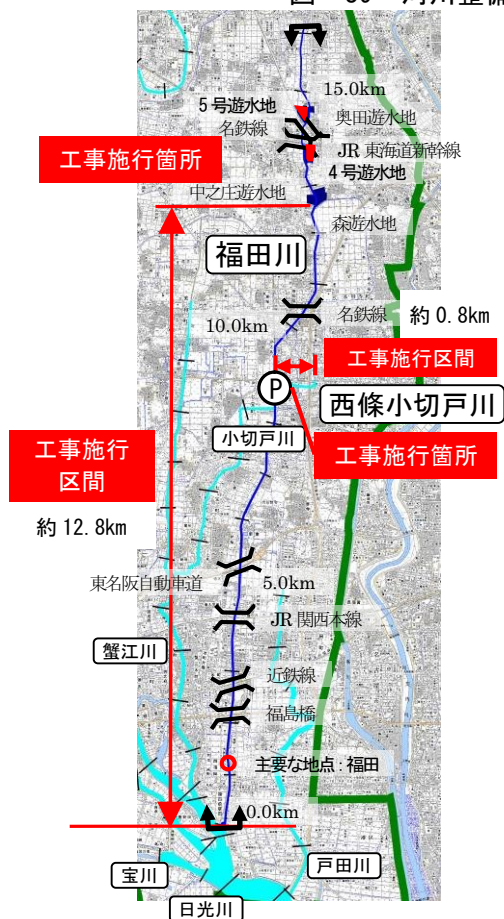


図-40 福田川平面イメージ

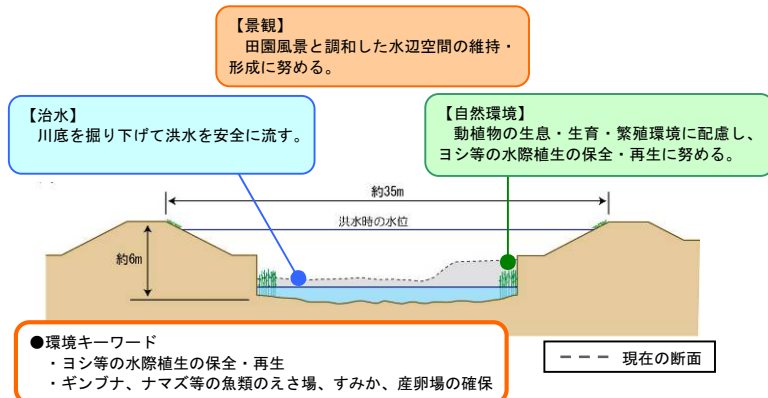


図-41 福田川イメージ（4.0km 付近）

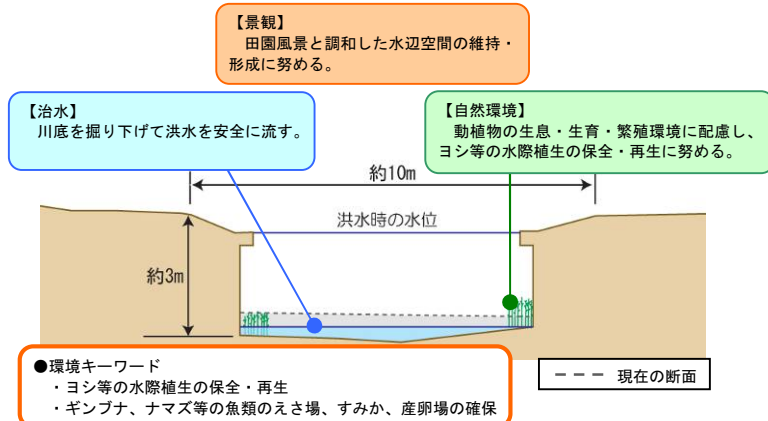


図-42 西條小切戸川イメージ（0.4km 付近）

(9) 善太川

善太川では、流下能力の増大を図るために約 8.5km より上流の約 3.5km において河床掘削を実施し、必要に応じて築堤、護岸整備および橋梁の架け替えを行う。その他の中下流区間においても、一部の堤防高が不足する区間について、築堤、護岸工等を実施するとともに、流下阻害となっている橋梁の架け替えを行う。

また、地震対策としては、表 4 に示した区間について必要な耐震対策を行う。

整備にあたっては、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮する。

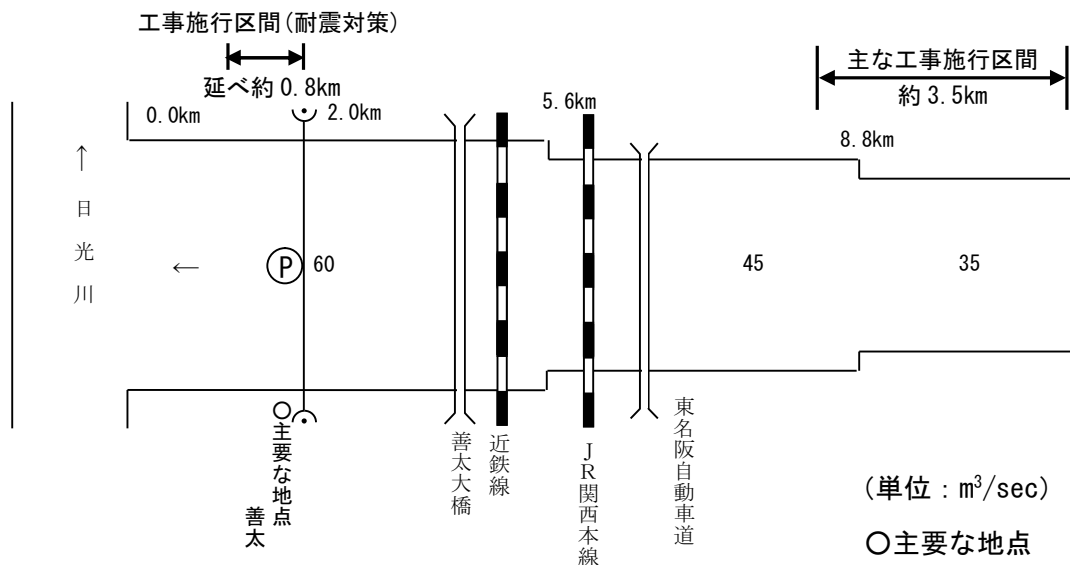


図-43 河川整備計画の目標とする流量配分図（善太川）

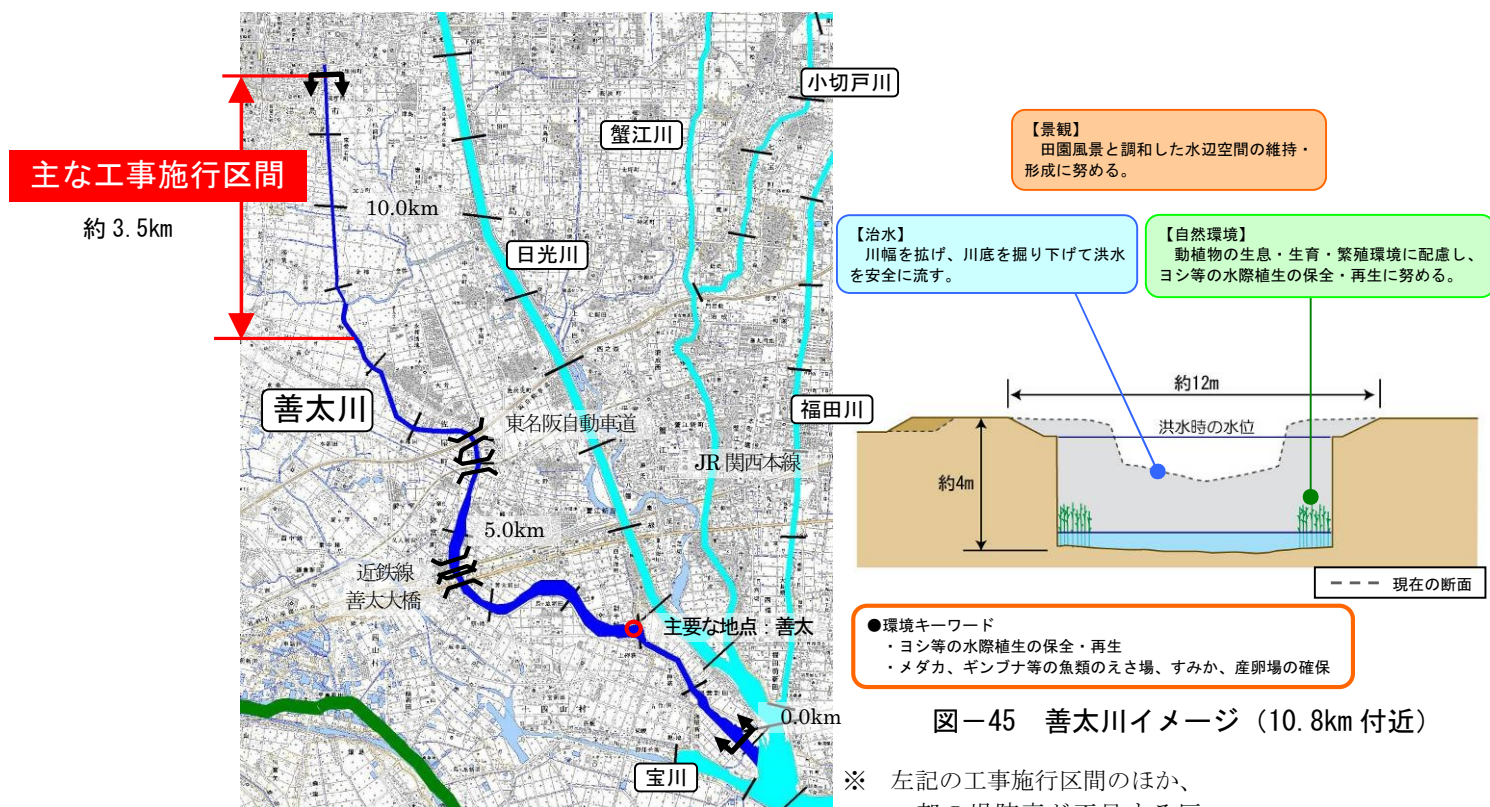


図-44 善太川平面イメージ

図-45 善太川イメージ（10.8km 付近）

※ 左記の工事施行区間のほか、一部の堤防高が不足する区間について、築堤・護岸工等を実施する。

(10) 戸田川

戸田川では、流下能力の増大を図るために、約 4.4km より上流の約 2.8km の区間において河床掘削を実施し、河口排水機場において、 $30\text{m}^3/\text{sec}$ から $50\text{m}^3/\text{sec}$ までポンプを増強する。地震対策としては、戸田川排水機場について、耐震照査を行い必要な耐震対策を行う。

整備にあたっては、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮する。

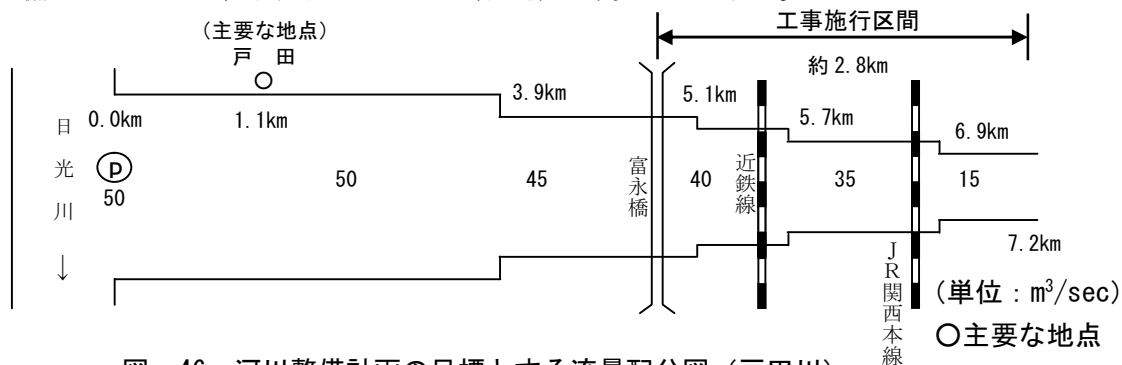


図-46 河川整備計画の目標とする流量配分図（戸田川）

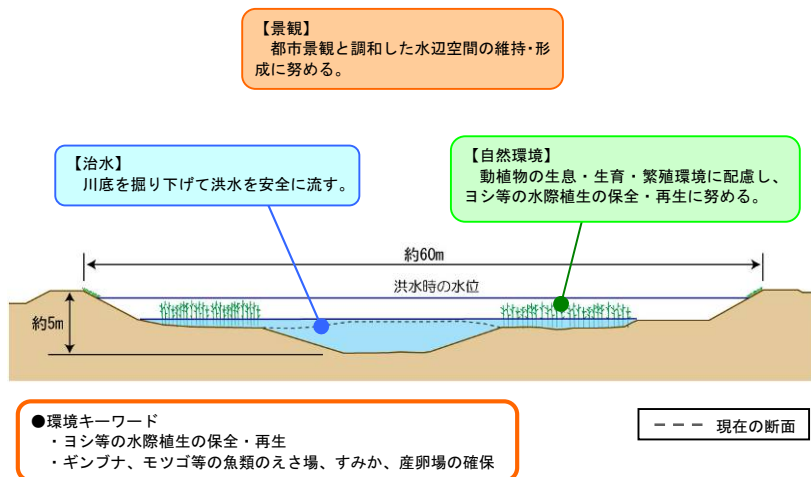


図-48 戸田川イメージ（4.5km 付近）

図-47 戸田川平面イメージ